

第1回大野市男女共同参画推進委員会の概要

日 時 令和3年10月14日（木）
午後7時00分～午後8時30分
場 所 結とびあ 302会議室

1. 開会

2. 委嘱状交付、市長あいさつ

3. 委員の紹介

4. 委員長・副委員長の選出

5. 委員長あいさつ

6. 議題

(1) 大野市男女共同参画推進委員会の役割について

(2) 男女共同参画プラン進捗状況（令和2年度実績）の概要について

委員からの主な意見等は次のとおり

- ・令和2年度は市職員向け研修会の開催はなかったとのことだが、市民にとって行政の意識は大切なので、意識の啓発を小まめに発信できる方法を検討していただきたい。
- ・女性の登用については、頑張っていて取り組まれていると思う。他市の状況も気になる。
- ・自分の職場では、男女の差はないと思う。有給休暇は100%消化している。役に付いている職員も男女同数程度いると思う。
- ・学校での男女共同参画について、体力面などの性差はどうしてもあるが、男女平等に役割を与えている。
- ・家庭における「炊事、洗濯、掃除」の男女が同じ程度実施する比率についてのアンケート結果は、低い数字だと思う。半々となるのが理想的である。また、職種によっては、男女が平等にということが難しい部分もあると感じている。

- ・自分の職場では、女性職員が多く力作業も女性がしている。採用についても、男女平等にしている。女性が働きやすくするためには女性の意識も大切である。
- ・市の管理職は女性が少ないが、時間をかけて意識も変わってきていると感じている。
- ・アンケート結果を見ていると、男性と女性の意識の違いが生じている。男女共同参画とならない何かがあるのか。男女間のギャップを埋める手段が何か必要なのではないか。
- ・男女平等に対する関心がある人の比率について、女性が低い結果となっているのは、あきらめの気持ちもあるのかもしれない。意識付けが重要になってくるのではないか。
- ・男性のアンケート結果には期待感も含まれているように思う。
- ・プランの目標達成はなかなか難しいとは思いますが、10年の計画の中でじっくりと取り組んでいくことになるのだと思う。研修については、集合型もいいが、実施の仕方を考えていくといいのではないか。

(3) 令和3年度女性活躍推進セミナーの計画について

7. その他

8. 閉会あいさつ